

2009年4月23日 KFシステムコントローラパックおよびKFシステムクリエイター改定

KFシステムコントローラパックおよびKFシステムクリエイターを改定いたしました。ユーザーの方はダウンロードページよりダウンロードの上、解凍してご利用ください。

今回の改定により、KFシステムコントローラパックはVer4.02b⇒Ver4.02c、KFシステムクリエイターはVer4.04⇒Ver4.05となります。

今回の改定内容を以下に記します。

1. KFシステムコントローラパックVer4.02c

改定したファイルは次の5つです。他のファイルに変更はありませんので、これら5つのファイルのみ差し替えてご利用ください。

- ・KFシグナルチェッカー[Ver3.02⇒Ver3.03]
(シグナルチェッカー030.xls)
- ・性能一覧マクロ[Ver3.02⇒Ver3.03]
(性能一覧030.xls)
- ・ファイル更新マクロ[Ver3.01⇒Ver3.02]
(ファイル更新030.xls、ファイル更新030a.xls、
ファイル更新030_01.xls、ファイル更新030_02.xls)
- ・シグナルチェッカー更新マクロ[Ver3.02⇒Ver3.03]
(シグナルチェッカー更新030.xls)
- ・性能一覧更新マクロ[Ver3.01⇒Ver3.02]
(性能一覧更新030.xls)

KFシグナルチェッカーと性能一覧マクロにつきましては、ブログでもご紹介しましたように、システム登録処理やリンク更新の際に、ワークシートへの書き出しを高速化いたしました。

また、ファイル更新マクロにつきましては、KFシグナルチェッカーおよび性能一覧マクロの起動時に、それらを起動してからリンクを更新するようにいたしました。

従来は、ファイル更新マクロからKFシグナルチェッカーや性能一覧マクロを起動すると、それらが表示されるまでかなりの時間が掛かる場合がありましたが、今回の改定により、表示そのものは瞬時に行われるようになりました。ただし、表示後にリンクの更新が完了するまでは、相変わらず時間を要しますので、ご容赦ください。

シグナルチェッカー更新マクロおよび性能一覧更新マクロにつきましては、リンクの更新を停止させることによって処理を高速化いたしました。

また、更新時にファイル名が変わってしまう場合があるという不具合を修正いたしました。

従来は、銘柄名欄の内容に基づいてファイル名を決定していましたが、それを更新前のファイル名をそのまま更新後にも適用するようにいたしました。

そのため、銘柄名欄には何も入力しなくても、正しく更新が行えるようになります。

2. KFシステムクリエイターVer4.05

サマリーページにおける運用開始日の初期表示方法を変更いたしました。

従来は、初期状態では終点日の日付を表示するようになっていましたが、今回の改定により、終点日がテスト終了日より新しい場合は、運用開始日としてテスト終了日の翌日が表示されるようにいたしました。

この改定により、フォワードテストなどで終点日を直近日よりも以前に設定して最適化演算を行った場合、最適化演算後にデータ更新を行うだけで、運用開始後(テスト終了日の翌日以降)の成績を確認することができるようになります。

従来は、データ更新後、手動で運用開始日を設定してやる必要がありました。

なお、終点日がテスト終了日と同じか、またはそれ以前である場合は、従来通り運用開始日として終点日が設定されます。

そのため、最適化演算直後にシステム判定がNGとなったり、機能判定等でエラーが発生するということはありません。

なお、運用開始日が自動的に設定されるのはあくまで初期状態の場合であり、運用開始日欄に直接、運用開始日を入力した場合には、それが自動的に変更されることはありません。

また、運用開始日を初期状態に戻したい場合は、元システムから数式をコピーしてやる必要があります。この辺りの仕様につきましては、後日もう少し改善したいと思っております。

以上、今回の改定内容についてご説明いたしました。ご不明な点等ございましたら、お問い合わせページよりお問い合わせください。また、不具合情報やご意見、ご感想、ご要望等ございましたら、ご連絡いただけますと幸いです。